

# 富富富 特報

令和6年4月30日  
JAみな穂「富富富」ブランド化推進協議会

～目標収量 540 kg/10a に向けて初期茎数をしっかり確保～

収量を確保しつつ高品質な富富富を生産するためには、初期茎数を確保することが重要です。丁寧な代掻きで均平に努め、田植え精度を高めるとともに、田植え後は浅水管理で分げつの発生を促進しましょう。

## 1 4月下旬以降の育苗管理 ～換気を徹底する～

- ・緑化期以降は1日1回早朝にかん水し、晴天日や風が吹く日等は、日中でも培土の乾き具合に応じてかん水しましょう。
  - ・田植え1週間前頃を目安に、夜間もハウスを開け、外気に慣らしましょう。ただし、気温が5℃以下になると予想される場合は閉めましょう。
- ※田植時に苗を取り違えないよう、品種ラベルを貼付、掲示し、品種をまちがえないようにしましょう。



苗の比較

## 2 耕起・代かき ～根張りを良好にするとともに、除草剤の効果を高める～

- ・代かきは田植えの2～4日前に行いましょう。
- ・代かきは浅水で、稲わらを埋没させるとともに、ほ場の均平に努めましょう。
- ・代かき後の濁り水は、ほ場外に流さないでください。また畦畔沿いに吹き寄せられた浮遊物は除去しましょう。

## 3 苗箱施薬剤の散布 ～苗箱施薬剤は、除草剤と間違えないよう確認する～

- ・は種時覆土前～移植当日に、1箱当たり50gを均一に散布しましょう。

薬剤名	フェルテラ箱粒剤	成分	クロラントラニリプロール (1成分)	対象	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ニカメイチュウ
-----	----------	----	--------------------	----	---------------------------------

※密苗の場合は、10aあたり1kgになるよう50～100g/箱散布する。

例) 10枚/10aで100g/箱

栽培期間に使用できる化学合成農薬の成分使用回数は12以内です。

※「富富富の農薬体系」以外の農薬を使用する場合は事前に営農指導員にご相談ください。

70株植えと浅水管理で初期分げつを確保し、「穂数型稲」への誘導を!

## 4 基肥 ～適正な基肥量を施用する～

- ・「富富富」の基肥量を多くすると品質・食味の低下につながるため、施肥量は「コシヒカリ」の2割以上減を基本とし、過剰にならないように留意しましょう。

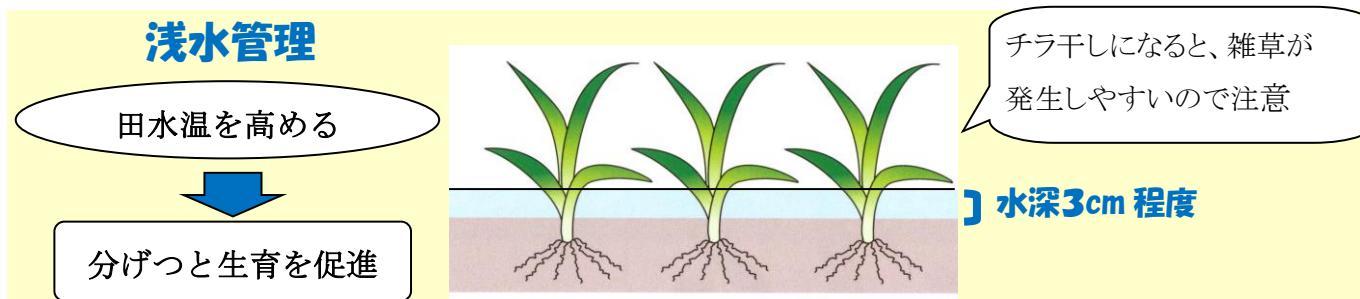
施肥体系	肥料名	施用量の目安※
一発体系	富富富専用	28～32kg/10a (側条)

※大豆跡ほ場や堆肥を施用した場合は、1～3割減肥しましょう。

品質目標 玄米タンパク含有率：6.4%以下 (水分15%換算値)

## 5 田植え ～適正な田植え作業の実施と初期の水管理の徹底～

- ・5月15日を中心とした田植えを行いましょう。
- ・植付株数は70株/坪とし、初期分げつの確保に努めましょう。
- ・植付深さは3cm、植付本数は3～4本/株となるように田植機を調整しましょう。
- ・田植え直後は苗が水没しない程度のやや深水とし、活着後は水深3cm程度の浅水管理に切り替え、分げつの発生を促進しましょう。
- ・入水は朝または夕方に行い、日中は水を止めて田水温の上昇に努めましょう。



## 6 除草剤の散布 ～使用方法を厳守し、適期に散布～

田植からの日数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
一発処理剤の場合 (一般苗)	●●●			▶ プライオリティ1キロ粒剤 (2成分)																			
体系処理の場合 (一般苗)	かねつぐ1キロ粒剤 (2成分)			▶							▶ プライオリティ1キロ粒剤 (2成分)												
密苗の場合	ピラクロン1キロ粒剤 (1成分)			▶																	▶ アクシズMX1キロ粒剤 (3成分)		

- ・前作が「富富富」以外の場合は、「かねつぐ1キロ粒剤」を必ず散布しましょう。
- ・初期剤を田植え同時処理する場合は、田植え後、直ちに入水しましょう。散布後7日間は落水やかけ流しは行わないようにしてください。
- ・ただし、密苗の場合は「ピラクロン1キロ粒剤」を使用し、田植え同時処理は避けましょう。